

日本初の接種証明SmartHealthCards規格 対応デバイス 「QRQ（特許申請準備中）」を2022年1月に発売します

2022年1月より販売開始

dotBravo株式会社（本社：静岡県富士市、代表取締役：森昌俊）は、世界で利用されているスマートヘルスカード対応デバイス「QRQ（キューアールキュー）（特許申請準備中）」を開発、2022年1月中旬より販売開始いたします。本製品は、デジタルワクチン接種証明書（新型コロナウイルスのワクチン接種証明書やPCR結果の2次元コードもしくはバーコードを表示したもの）を読み取り、クラウド連携によりシンプルに結果を返します。



SMART Health Cards QR Reader



キューアールキューブ

製品開発の背景・目的

世界中及び、日本国内でワクチン接種、検査が普及しました。同時に接種履歴や陰性証明を活用した行動制限の緩和が模索されています。欧米各国では飲食店を始めとしてすでに運用が開始される中、デジタルヘルス証明とIoTデバイスを活用した安心空間を実現する仕組みが求められています。

しかし、現時点では見せる側も、確認する側もスマートフォンに依存した形で運用をしており、時間、人件費など想定される問題点があります。

今回、店側（確認する側）の不便さを解消するために、世界で利用されている、また同時に国としても国内で利用想定とされているSmartHealthCards規格のバーコード（QR及びバーコード）対応の証明書リーダーを開発しました。

製品概要

2021年中に政府から発行されるだろうスマートヘルスカードのQR表示対応のQRリーダーです。特許取得申請準備中です。

通常のQRリーダーでは出来なかったサーバーとの通信を実行可能とし、暗号化及び復号下を可能なサーバープラットフォームとの連携を行うことで、個人情報漏洩を意識したワクチン接種証明書の確認を可能にするハードウェア、ソフトウェア及びバックエンドのシステムを構築しました。

発売予定は2022年1月中頃とし、コロナ第六波など来るか分からない不安に対する対応と、政府のデジタル田園都市構想に基づくWithコロナ及びBeyondコロナの製品として展開します。

製品特徴

（1）確認するスマートフォンの8倍以上のスピードで接種証明が確認可能

これまで一人30秒から1分かかっていた確認時間が減り確認するための人員の作業コストを減らします。

POCによる実証実験では、50人のユーザーに対してスマートフォンを利用した場合一人あたりの平均25秒（※1）だっ

たのに対して、弊社製品QRQを利用した結果、一人あたり3秒となった。単純に8倍以上のスピードアップをした結果となった。

(2) IoT+Cloudを利用した最先端認証システム ※2

ワクチン接種証明書を見られるユーザーもQRコードだけで、確認する人に名前等の情報を見られることはありません。そして通信する環境も最先端の技術を使うことでセキュリティも強固です。ワクチン接種証明書に名前を表示するしないでさまざまな議論がされていますが、そもそもQRコードだけを機器に見せる場合においてそれは問題となりません。人間が確認するから間違いも問題も起こります。IoTデバイスだから可能なことを実現した最先端デバイスです。

(3) シンプル、そして簡単に利用可能

箱を開けて、電源を差して5分で設置可能な仕組みを準備しました。スマートフォンを単独で用意するのも、セットアップをするのも面倒なユーザー様の利便性を追求しています。

(4) 世界基準のSmart Health Cards規格 対応

世界での利用を目的としているため、スマートヘルスカード対応となります。

Smart Health Cards規格とは、アメリカをはじめとした各国で利用されている接種証明機能を備えたアプリケーションです。既に全世界の組織で利用する準備をおこなっており、特定の組織・企業・政府機関が開発した訳ではないため、人々が広く公平に利用出来ることが利点であるとしています。

もちろん、国内における民間及び各行政との今後の連携により他のワクチン接種証明書及び接種証明との連携も想定しております。

※1 50人に一列になって頂き、常時認証アプリを開いた状況で行っております。実際には、同時にお客様が飲食店に会場することはありませんので

アプリケーションを開く時間、入口に向かう時間などは考慮されておりません。8倍となりますが、実際には相当コスト削減が可能ではと想定します。

※2 他のワクチン接種証明書の認証システムは別途サーバー及びそのための開発が必要となります。

製品利用イメージ

検温を行うことがコロナ禍で始まったニューノーマルです。結果として弊社でも顔認証端末の開発やdotCubeなどの簡易検温スクリーニング機器の開発を行い入口の作業の単純化を行いました。

同様にワクチン接種証明書を確認する作業を代替することにより、受け入れる側のコスト、ストレスを軽減します。

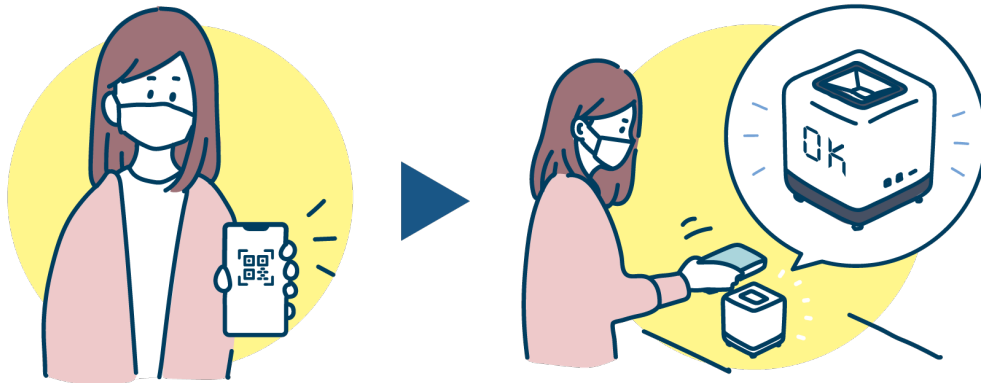
利用しない場合

スマートフォンを利用してQRコードを読み取るためには、受け入れる側で確認員を準備し、その人がカメラをQRを読み取る高さやサイズに合わせるための時間がかかります。



利用する場合

ユーザーがかざすだけで確認が完了します。OKの表示が出たらワクチン接種証明書確認問題なし、NGの表示が出たらワクチンパスポート期限切れと、各規格の仕様に準拠した結果を返します。



製品詳細

価格想定：40,000円前後（無償補償期間あり）

販売開始時期：2022年1月中旬

サイズ：縦横8.2cm 高さ8.4cm

光源：白色LED センサー：640 x 480 CMOS

読み取り精度：二次元コード $\geq 10\text{mil}$ 、一次元コード $\geq 5\text{mil}$

読み取り角度：たわみ 360° 、回転 60° 、傾斜 65°

スキャン角度： 36° （水平）、 27° （垂直）

被写界深度：EAN-13 2.0~11.0cm（13mil）、Code128 2.5~13.0cm（15mil）、

携帯電話番号3.0~13cm（5インチ携帯電話画面）

インターフェース：USB 表示：ブザー、LEDインジケーター（OK、NG表示）

動作温度： 0°C ~ 50°C

インターフェース：USB-C

電圧：DC 3.6v $\pm 5\%$ 動作電流：200mA（代表値）

WiFi 802.11 b/g/n/e/i

Wifiモード切り替え：APモード及びSTモード

技適取得基盤利用

特許申請準備中

製品紹介サイト

<https://qrq.dotbravo.tech>

問い合わせ先

（有）プロデュース216 担当：藤崎

TEL：03-5436-2160

FAX：03-5436-2432

メールアドレス：takeo216@rr.ij4u.or.jp